

保団連歯科会員アンケート

実施期間:2021/5/7～5/31

回収率:約10%(歯科開業医会員446名にFAX・メール等で案内し45名より回収)

調査目的:新型コロナ感染症拡大の中、歯科医療機関の経営は厳しい状況が続いており、歯科では2020年4月～2021年1月診療分のレセプト請求金額は対前年同期との比較で459億円の減少、患者数(件数)は1723万人の減少となっています。保団連では新型コロナ感染拡大による歯科医療機関の状況を把握し、その改善を目指すために全国で実施したものです。

問1 先生の年齢

アイウエオ

20～30代	2	4.4%
40代	4	8.9%
50代	17	37.8%
60代	14	31.1%
70歳以上	7	15.6%
無回答	1	2.2%
合計	45	

問2 貴院の歯科医師数

アイウ

1人	28	62.2%
2人	12	26.7%
3人以上	4	8.9%
無回答	1	2.2%
合計	45	

問4 貴院の土地・建物

アイ

自己所有	35	77.8%
賃貸	9	20.0%
無回答	1	2.2%
合計	45	

問5 保険診療収入と自由診療収入の割合について(例:保険診療収入8:自費診療収入2)

平均

保険診療収入	8.9
自費診療収入	1.1

問6 新型コロナ感染拡大の影響について

(1)現在(2021年4月)の自院の状況をお聞きます。

①外来患者数

ー昨年(2019年4月)と比べて

増減割合(平均)

アイウ

増えた	4	9.3%	10.0%
変わらない	16	37.2%	
減った	23	53.5%	17.7%
合計	43		

昨年(2020年4月)と比べて

増減割合(平均)

アイウ

増えた	7	15.6%	14.0%
変わらない	22	48.9%	
減った	16	35.6%	14.9%
合計	45		

②保険診療収入
—昨年(2019年4月)と比べて

増減割合(平均)

アイウ	増えた	7	16.3%	11.1%
	変わらない	13	30.2%	
	減った	23	53.5%	16.6%
	合計	43		

昨年(2020年4月)と比べて

増減割合(平均)

アイウ	増えた	11	24.4%	11.8%
	変わらない	22	48.9%	
	減った	12	26.7%	13.5%
	合計	45		

③自由診療収入
—昨年(2019年4月)と比べて

増減割合(平均)

アイウ	増えた	4	10.0%	12.5%
	変わらない	22	55.0%	
	減った	14	35.0%	42.1%
	合計	40		

昨年(2020年4月)と比べて

増減割合(平均)

アイウ	増えた	3	7.0%	15.0%
	変わらない	28	65.1%	
	減った	12	27.9%	47.0%
	合計	43		

(2)2020年3月以降、貴院のスタッフは

アイウ	歯科医師	変化なし	39	86.7%
		増えた	4	8.9%
		減った	2	4.4%
		合計	45	
アイウ	歯科衛生士	変化なし	28	65.1%
		増えた	6	14.0%
		減った	9	20.9%
		合計	43	
アイウ	歯科技工士	変化なし	30	96.8%
		増えた	1	3.2%
		減った	0	0.0%
		合計	31	
アイウ	歯科助手	変化なし	31	73.8%
		増えた	4	9.5%
		減った	7	16.7%
		合計	42	

(3)新型コロナ感染拡大の影響で、患者の症状が悪化しているケース(※複数回答可)

対合計 対回答者

アイウエオカ	う蝕の進行	19	23.5%	42.2%
	歯周病の悪化	22	27.2%	48.9%
	義歯の脱離・不適合	13	16.0%	28.9%
	抜髄	9	11.1%	20.0%
	拔牙	9	11.1%	20.0%
	その他	9	11.1%	20.0%
	合計	81		

問7 コロナ禍での医院の対応と今後の経営の見通しについて

(1) 医院としての対応(※複数回答可。アを選択した場合、A～Dも選択してください)

対合計 対回答者

ア	各種補助金の活用	34	33.7%	75.6%
A	慰労金	25	73.5%	55.6%
B	感染症対策支援金	28	82.4%	62.2%
C	持続化給付金	5	14.7%	11.1%
D	家賃支援給	0	0.0%	0.0%
イ	各種融資制度の利用	10	9.9%	22.2%
ウ	経費節減	14	13.9%	31.1%
エ	人件費の削減	1	1.0%	2.2%
オ	感染対策の徹底	30	29.7%	66.7%
カ	過去受診者へ働きかけ	3	3.0%	6.7%
キ	自費診療を増やす	7	6.9%	15.6%
ク	その他	2	0.0%	4.4%
	合計	101		

* A～Dの
対合計は
アの数に
対する割

(2) 今後の経営の見通しについてどうお考えですか？

ア	回復している	2	5%
イ	対策を講じ維持	32	73%
ウ	見通し立たない	5	11%
エ	閉院も考えている	5	11%
	合計	44	

※ウまたはエをお答えした場合、理由をお聞かせ下さい(※複数回答可)

対合計 対(2)ウ

ア	患者が戻ってこない	3	13.0%	60%
イ	感染対策の経費増	5	21.7%	100%
ウ	家賃の支払い困難	0	0.0%	0%
エ	納税が困難	1	4.3%	20%
オ	返済の見通しが立たない	1	4.3%	20%
カ	スタッフの補充が困難	1	4.3%	20%
キ	後継者がいない	6	26.1%	120%
ク	年齢的・体力的に厳しい	6	26.1%	120%
ケ	その他	0	0.0%	0%
	合計	23		

問8 歯科医業経営を改善するために先生が望む方策について

(1) コロナ禍の対応(※複数回答可)

対合計 対回答者数

ア	医療機関のコロナ禍による減収の補填	18	15%	40%
イ	「コロナ特例」加算の拡充	20	17%	44%
ウ	家賃支援給付金の延長・拡充	2	2%	4%
エ	新型コロナ感染症対策のための支援金の追加	30	25%	67%
オ	医療従事者慰労金の追加	24	20%	53%
カ	各種融資制度の拡充	10	8%	22%
キ	政府による受診勧奨の推進	10	8%	22%
ク	その他	4	3%	9%
	合計	118		

(2) コロナ禍だけでなく、今後の歯科医業改善のための対策(※複数回答可)

対合計 対回答者数

ア	患者窓口負担の引き下げ	22	12.9%	48.9%
イ	診療報酬の引き上げ	28	16.4%	62.2%
ウ	補綴関連点数の引き上げ	24	14.0%	53.3%
エ	新規技術の保険導入	12	7.0%	26.7%
オ	新病名の保険導入	8	4.7%	17.8%
カ	歯周病関連点数の改善	13	7.6%	28.9%
キ	訪問診療の算定ルールの変更	5	2.9%	11.1%
ク	医科歯科連携の制度の充実	5	2.9%	11.1%
ケ	金パワ「逆ザヤ」の解消	38	22.2%	84.4%
コ	歯科健診の充実	6	3.5%	13.3%
サ	混合診療の全面解禁	10	5.8%	22.2%
シ	その他	0	0.0%	0%
	合計	171		

記入欄

問6 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

(2)2020年3月以降、貴院のスタッフは(①歯科医師②歯科衛生士③歯科技工士④歯科助手)

- ・出産のため(④ 減った)
- ・長続きしない(②④ 減った)
- ・転勤(だんなさんの)(② 減った)
- ・産休あけのスタッフの復帰や長男(歯科医師)の配偶者が歯科技工士だった。(①②③④ 増えた)
- ・歯科衛生士1名自己都合により退職(② 減った)
- ・消毒などの他の作業が増えたため(④ 増えた)
- ・産休(② 減った)
- ・以前勤めていた衛生士が理由があつてまた戻ってきた為(② 増えた)
- ・患者が増えたので(② 増えた)
- ・出産などで退職(②④ 減った)
- ・コロナにより介護対象者を施設から在宅介護に移行するため退職(④ 減った)
- ・募集して採用(②④ 増えた)

(3)新型コロナウイルス感染拡大の影響で、患者の症状が悪化しているケース

カ. その他

- ・無し
- ・変化なし
- ・口腔衛生の悪化
- ・なし
- ・特になし
- ・特になし
- ・無し
- ・特に変化なし

具体的に

- ・世の中が不況感につつまれて受診抑制が強くなっている印象があります。
- ・感染の懸念による来院控えによる様々な疾患の悪化
- ・受診控えにつれかなり痛みがひどくなったり歯の動揺や歯肉の出血が悪い状態の来診が増えた。
- ・わずかではあるが、定期検診のキャンセルあり
- ・来院をひかえている方もいらっしゃる
- ・小児には影響は少ないと感じるが、1才半、3才検診でのフッ素塗布や学校での歯磨き●●の●●●●の●●●●これから●●があるかもしれない。
- ・訪問で行っていた施設がのきなみ訪問停止になり治療自体がSTOPした。
- ・コロナでなかなか動けなくてとのこと。
- ・なし
- ・受診を控えており痛みがでてからの来院がみうけられる。
- ・特にコロナのせいかはわからない
- ・ア、う蝕は食渣がつまる、痛みを我慢出来なくなった。イ、グラグラして腫れて痛い。ウ、破折部を接着剤で付けた。

問7 コロナ禍での医院の対応と今後の経営の見通しについて

(1)医院としての対応

ク. その他

- ・特になし
- ・保険診療の限界。亡くなった方、他へ移られた方が多い。

(2)今後の経営の見通しについてどうお考えですか？

具体的に

- ・消費税増税前からの不況に加えて、コロナ対策が全く機能していないため受診される患者層が限られ、見通しが立たず困っています。
- ・来年閉院予定。ユニットと私自身の老朽化診療台(ユニット)の修復が部品の関係で難しくなってきた為
- ・施設の老朽化
- ・感染対策に設備投資等増。ちょうどいろいろな機器の寿命もきている
- ・役所等が無くなら、過疎化が進み、高齢化が進み、若者特に小中学生●●激減、保険治療でも払えない人が居る

問8 歯科医業経営を改善するために先生が望む方策について

(1)コロナ禍の対応

ク. その他

- ・国民皆保険下で保険診療のみで経営出来る歯科界・医療人として豊かな心を持てる歯科界
- ・国と共に沈没
- ・特になし
- ・材料費、人件費、外注etc. 今の保険制度での過疎地の歯科医療は無理です。

自由記入欄

- ・一番の願いはコロナ対策がうまくいっている国を参考にきちんとした対応をして欲しいということです。
- ・R2年度の医療提供体制確保支援補助金の申請を2月10日行ったのにまだ振り込みがない。あまりにも国の対応が医療に対してないがしろな気がして仕方ないです。
- ・御世話になります。よろしくお願いいたします。
- ・消費税増税の解消
- ・歯科の保険点数が医科に比べて低いことがコロナ禍における打撃の一つではないかと思います。
- ・金パラ価格の急騰に保険点数がおいつかない！！
- ・義歯調整(修理)等に関し、調整は月1回の算定になっていることが腑におちません。勤務医の時に経験したのですが、患者様の義歯がおちやすいものがあるとの訴えに、月2回目以降は”義歯はそんなものだからはずして洗いなさい”とかのコメントを聞いたことがあります。また、新製義歯でもフィットが悪かったり、床縁の長さによってはダツリしやすくできてくることもあります。1回ではとても無理なことがありますので、ピッタリとして痛くなく咬めるまで、0点で修正していくようにしています。点数の改正が必要ではと思います。
- ・コロナ禍でも特に変化はありませんでしたので、例年と同じでした。
- ・仕事をやりながら赤字で何故中央には分かって貰えないのかと考える。歯科治療には自費が当たり前と考えているのでは?? 田舎は赤字でも保険しかありません!!

